



Web サイト制作 + 教育プログラム？

皆さんはこのタイトルを見て、何を感じましたでしょうか？

「教材を売ってるの？」「2つのサービスを行っているの？」

いえ、違います。

「Web制作のやり方を教えてくれるの？」

半分正解です。

おそらく、表題のタイトルを見て、何をお伝えしたいのかは創造つかないと思います。

このサービスは「一風変わった」Web制作を通して行う人材教育サービスです。

そして、これは皆様の事業の恒久的なご発展の一助になるものでもあります。

もし、事業をさらなる発展につなげたいと思う、

社員の幸せを大事にする心優しい経営者の皆様。

会社の資産はすばらしいのに、世間の評価にギャップを感じる営業の皆様。

部下の行動に自立を促したい現場担当者の皆様。

お忙しい中ではいらっしゃると思いますが、

是非ご一読いただくと幸いです。



売りに上げに直結する「広報物」を外部に依頼する弊害。 「価値と戦略の不一致」

小規模でご経営されてる企業様の場合、
広報物を内部で制作する優秀なリソースをもっている所は別として、
そのほとんどの場合が、外部にご依頼する形になると思います。

さらにマーケティングやメディア展開などを考えますと、
媒体を持っている代理店などに頼む必要があります。

その場合、意図した効果を金額内で実現するためにも、
広告物の制作や展開に関して、正確な知識とリテラシーを
内部で持つことが大変重要になってきます。

しかし、社内でその人員を作り上げるにも専門外で難しく、
やはり外部スタッフに頼る以外にないのが実情だと思われます。

それで問題になるのが、本来の歴史と意図を知る社員や内部スタッフと、
それに応じる外部スタッフの意識イメージの差です。

自らの想いの実現に対しても、外部の意見と戦略はもちろん重要だと思います。
ですが、それを使用するスタッフが居て初めて成り立つものでもございます。
それを絵空事で終わらせないために必要とされるのが、
戦略に根ざした広報物であり、広告、Web 展開です。

そのような広報物を制作するには何が必要か。

もちろん技術は必要です。急な変化に対応するためにも、あるいは、
広告にそこまでの費用をかけられない場合にも対応できるスタッフが居れば
心強いと思いますし、それらの技術も一朝一夕で得られないのは周知の通りです。

しかし一番大事なのは、
それらの思いを、戦略や広報物などのカタチそのものに
翻訳（トランスレート）できる人材ではないでしょうか？

私たちのサービスは、御社 Web サイト制作を通し、
皆様、そして受講者本人に恩恵が受けられるような、Web メンテナンス技術・および、広告制作技術。
さらに上記リテラシーを兼ね備えた人材の育成を行うことを、至上の目的としています。





広告を介して、伝えるということの難しさ。

ボロは着ても心は錦と言いますが、やはり人間。
ここに同じサービスを同じ値段で売っている2人の人間がいて、
お2人とも能力は同じ、しかも誠実ではあるのですが、
身なりがキッチリした方と、ボロボロの不潔そうな方が居た場合、
皆様は、どちらから買うでしょうか？
おそらく、キッチリした所から買うという方が大多数ではないでしょうか？

これと同じ事が Web などの広報物にも言うことができます。

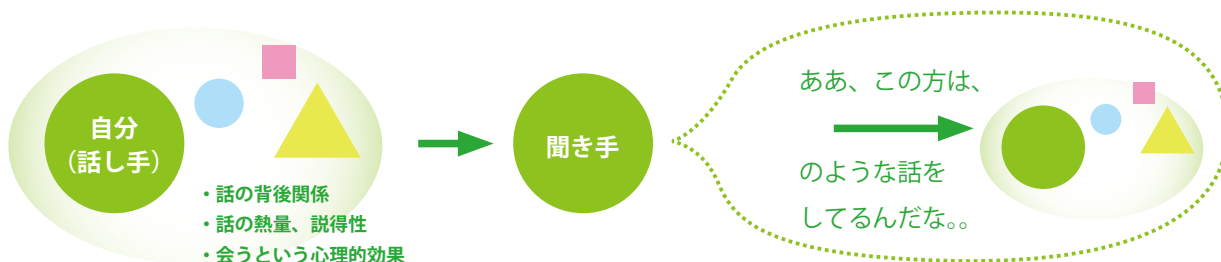
Web は生ものとはよく言われますが、全くそのとおりでして、
時代に即したものにしなければ生きてものとはいえませんし、
長い間放置すれば文字通り腐ってしまいます。

いつでも対面でお会いできれば、皆様の本来の魅力をお伝えするのに
十分すぎるかも知れません。
しかし、お忙しい中、それにもやはり、限りがございます。

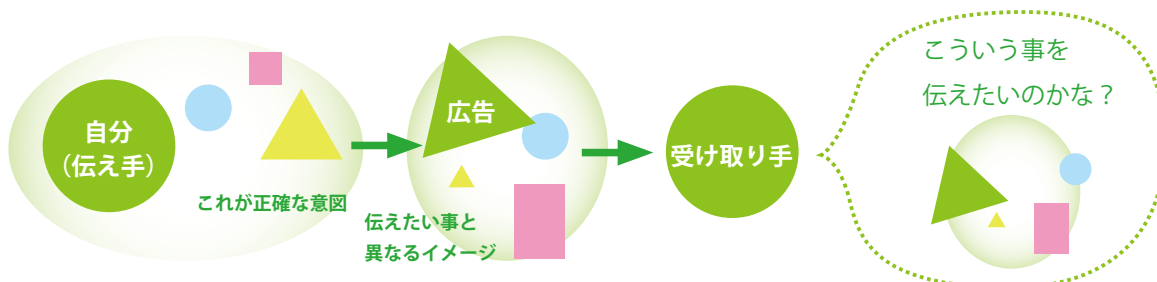
ですから、自分の居ない時でも営業活動をする広告ツール。
その見せ方というのは、自分が思っているよりも「大事」だといえます。



対面でお会いした場合。



広報ツールを介したした場合 (悪い例)。





経営者と、制作者の立場の乖離。

広告について。

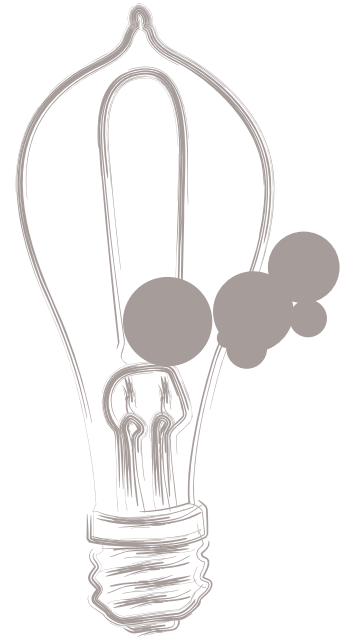
おそらく、100%意図通りお伝えできれば苦勞はいたしません。
でも現実には、その5%もお伝え出来ていないのではないのでしょうか？

それは、お伝えするには、媒体としてあまりに時間が短く、情報量に限りがあるからに
他なりません、その制約の中でも的確にお客様の心を掴んでいるものもあるのは事実です。
その中にはお世辞にも綺麗に作られているとは言えないものも存在しています。
では、その差はどうして出来るのでしょうか？

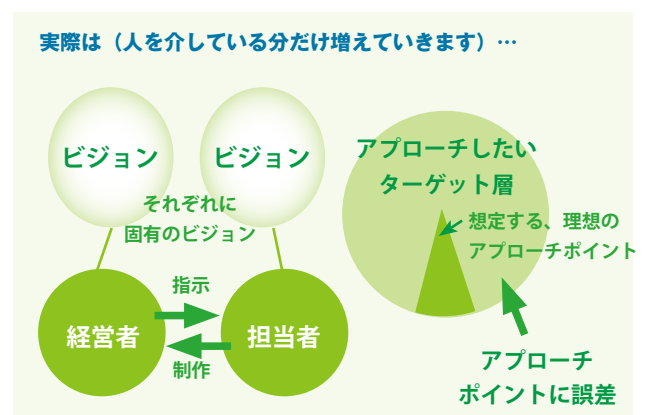
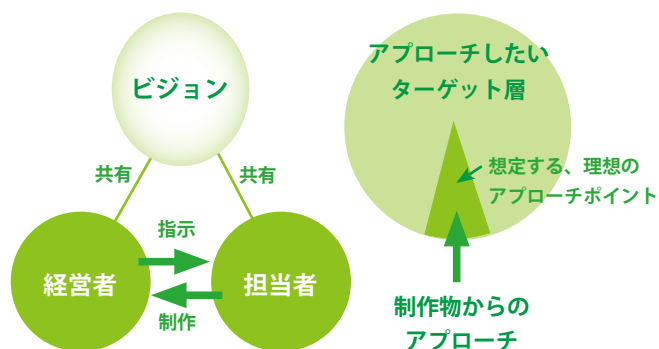
仮の話ですが、事業計画の一環としての頭の中にある広告イメージを、
丸々瞬時にアウトプット出来れば、その事業は成功するでしょう。
しかし、それが出来ないため、それらの専門の方に頼む事になります。
ここで問題なのは、お互いの所属、生まれてからの歴史、年齢、風土からくる価値観の違いです。

例えば、同じ映画を見ても全く違う感想になるのと同じように、
制作開始時にすでにゴールに対してバラバラの方向を向いている場合も多くあり、
そうなってしまうと、ターゲットや意図、用途、エモーショナルな部分において、
論点がぼやけてしまうことは否めません。

意図通りに作り上げ、それを有効活用するには、それ相応の準備はやはり必要ですが、
それを担う人材が、外部スタッフであるより、立場上同じ目線で話せる、
内部スタッフであるほうが、やはりいいのではないのでしょうか？



理想的な経営者（企画担当者）と制作担当者の業務フロー





2年後を見据えた、Web 構築。

いくら、Web サイトがリアルタイムであるとはいえ、実際に作って、告知し、イメージを定着させるにはやはり時間がかかります。生きたサイトにするためにも、是非2年後にどうなっていたいかを想定したサイト構築、およびスタッフィングをすることをお勧めします。

私たちが行うのは、Web サイトの制作と、その制作の過程でのWeb やそれに纏わるスキル教育を通じての末永い発展のお手伝いなのですが、そこに少しだけ根幹に関わる重要なことを含めます。

次のページから業務フローの一例を書かせていただきます。興味をもたれた方は、そのままページを読み進めていただければ嬉しいです。ここまで読んでいただいて大変ありがとうございました。

是非、お気軽にご相談ください。





業務フローのご紹介

従来の Web 制作フローでは、ヒアリング後の制作は全て内部で行い、作業内容そのものをお見せすることは、ほぼございませんが、私たちの Web 制作サービスでは、それらの内容こそ重要な教育機会ととらえ、スタッフを 1 人（または数人）お借受し、フローの内容を全てお見せした上で、プレゼンテーションなどのプロセスを含め、全部の作業内容に関わっていただきます。

業務フロー

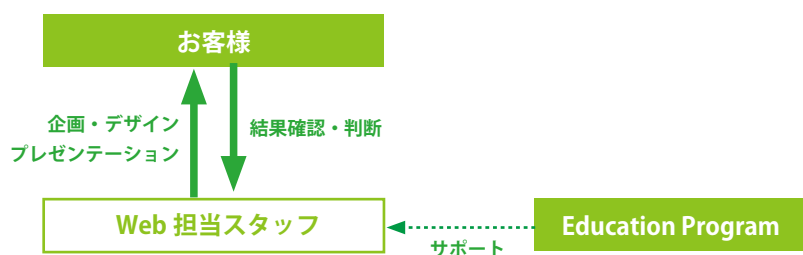


制作時のイメージ

発注前にて、Web 担当者のなる方との面談にて資質やスキル、本人の動機なども加味しまして、最適な Web 制作プランを構築いたします。発注後は Web 担当スタッフ週 1～2 日、弊社事務所にて作業を一緒に行って頂き、HTML や CSS などの基本的な知識やソフトの使い方。各種プログラム方法、構築方法などを学びます。



また、企画・ご提案段階や、その他プロセスにおいての、プレゼンテーションやヒアリング、進行の段取りについては、Web 担当者自身に行って頂き、社内プレゼンを行いつつ、終了時の反省会を行うことによって、プレゼン能力・意見を汲み取るコミュニケーション能力の開発を行います。





教育メソッドのご紹介

実際の仕事として行うことで、覚えるスピードは格段に速く、実践的。
また、外部スタッフとのやり取りや斥候、プレゼンテーションを行うことにより、
コミュニケーション能力が磨かれ、仕事に対する自信が身につきます。

企画・デザイン

サイト制作のプロセスの中で一番重要な箇所であり、未来を左右する可能性が一番高い部分であり、分野です。
ここを専門スタッフと綿密にセッションを行いながら企画・デザインの基礎を学びます。
ソフトの使用方法などの技術面から、エモーショナルな部分まで。幅広い範囲の中から、
押さえるべき部分を的確にレクチャーいたします。

HTML・CSS

デザインの部分とは違い、あくまで、メンテナンス性を重視した構築方法をレクチャーします。
1から作り上げるということを通して、Webサイトがどのような仕組みになっているかを学ぶとともに、
応用力を身につけます。また、分からないことがあれば自ら調べられるスキルとコツを教えます。

Flash・Webプログラミング・Ajax・各種Webサービスの使用方法

それらを1から作りたいのか、そうでないかにもよるのですが、今までプログラムを作ったことがない場合でも、
コツと調べ方が分かれば、新しいテクノロジーの導入も怖くありません。もちろん有料のサービスや、
ハンドメイドで作れる越したことはございませんが、それらを使用しなくても、良いものが構築できます。
本サービスでは、それらの導入・設置方法、活用方法。動作がおかしくなったときの対処方法。
また、ご要望に応じて1からの構築方法を学びます。

コミュニケーションスキル

やはり、会社の活性化は社員がどれだけ生き生きと仕事しているにかかっていると思います。
私たちが一番大事にしたいのは、本人の意思と希望です。それに自信をつけて頂くのが私たちの使命だと考えております。
その実現のプロセスをあくまで実践を通して行って頂き、コミュニケーションスキルの上昇を図ります。



講師紹介



村石 敏享
Web ディレクター

1978 年愛知県豊田市生まれ。

雑誌デザイン、広告デザインの社会人経験を経て、2004 年に独立。

デザイン、インタラクティブの観点からの Web アプローチを軸に

これまで数々の Web 制作を手がける。少数でのコーチングにも定評あり。

「IT」を「あいたい」に変えるために日々出来ることをモットーに日々奮闘中。

JITA Flash インストラクター

今までの実績例

- 日本コカコーラ社様 Web 特設サイト「森の博士」
- POLA 化粧品様 店頭用プロモーションビデオ「ホリスティック・メソッド」
- ヨシリツ株式会社様 知育玩具プロモーションサイト「LaQ」
- マミフラワーデザインスクール様「川崎景太オフィシャルサイト」
- マミフラワーデザインスクール様「川崎景介オフィシャルサイト」
- 株式会社ウィルコム様 Web 用 CM「サルかに合戦」
- 学校法人自由の森学園様 特設サイト「森の探訪」
- しままプリントシステム株式会社様「インターネットでデジカメプリント」
- ドトールコーヒー様「エクセルシオールカフェ」
- セブンスター様 特設サイト「FreeStyle Lab. JAPAN Tour」
- 紀文食品様 特設サイト「花おせち」



お問い合わせ

ここまで読んで多少なりとも興味をもたれた方。
是非お気軽にご相談ください。ご相談は無料です。
私たちは、企業様の自助努力をサポートいたします。
少しでも必要だと思う方のお力になれば幸いです。

お問い合わせ窓口